

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工業英語
科目基礎情報						
科目番号	0128		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	"Cutting edge", 『データベース4 5 0 0 完成英単語・熟語』, 『即戦ゼミ1 1 大学入試 ベストポイント英語頻出問題7 4 0 最新3訂版』					
担当教員	原口 治,ウィリアム・エドワード・ウィルキ					
到達目標						
1) 理数系、工学系に関する語彙を習得し、理数系、工学系の簡単な英文を読んで理解できる 2) 身近な話題や日本文化について英語で説明することができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	学習した理数系、工学系の語彙や表現のほとんどを英訳、日本語訳がほほできる。		学習した理数系、工学系の語彙や表現の半分程度、英訳、日本語訳がほほできる。		学習した理数系、工学系の語彙や表現の英訳、日本語訳がほほできるようになる必要がある。	
評価項目2	学習した範囲の理数系、工学系に関連する語彙を使って、英文の和訳、表出ができる。		学習した範囲の理数系、工学系に関連する語彙を使って、誤りを含みながらも英文の和訳、表出ができる。		学習した範囲の理数系、工学系に関連する語彙を使って、誤りを含みながらも英文の和訳、表出ができるようになる必要がある。	
評価項目3	身近な話題や日本文化についてまとまった内容で表現することができる。		身近な話題や日本文化について何とか表現することができる。		身近な話題や日本文化についてまとまった内容で表現することができるようになる必要がある。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1) 基本的英語に関する語彙を習得し、簡単な英文を読んで理解できる 2) 身近な話題や日本文化について英語で説明することができる					
授業の進め方・方法	授業は原則 1) と 2) の2部構成とし、定期的に 3) を取り入れながら進める。 1) 基本的内容を扱ったテキストを使用し、リーディング、リスニングに取り組みながら関連する語彙の習得を目指す。 2) リーディング、スピーキングに取り組みながら身近な内容を簡単な英語で表出する練習を課す。 3) 定期的にTOEIC試験や工業英語検定等の資格試験を体験する機会をもつ。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction, Unit 1-1			
		2週	Unit1-2,			
		3週	Unit 1-3,			
		4週	復習テスト			
		5週	Unit 2-3			
		6週	前半復習 Unit 2-4			
		7週	Unit 2-5			
		8週	前期中間試験まとめ			
	2ndQ	9週	Unit 3-2			
		10週	Unit 3-3			
		11週	Unit 3復習テスト			
		12週	Unit 4-1			
		13週	Unit 4-3			
		14週	Lesson 4 文法テスト, 試験対策			
		15週	前期期末試験返却			
		16週	単語テスト			
後期	3rdQ	1週	Unit 6-1, Lesson 6-2			
		2週	Unit 6-3			
		3週	Unit 6-4, 復習			
		4週	Unit 6復習テスト, Unit 7-1			
		5週	Unit 7-2, 復習,			
		6週	Unit 7-3, TOEIC体験			
		7週	Unit 7 復習, 文法テスト			
		8週	後期中間試験まとめ			
	4thQ	9週	Unit 9-1,Unit 9-2			
		10週	Unit 9-3			
		11週	Unit 9復習, 単語テスト			
		12週	Unit 10-1, Unit 10-2			
		13週	Unit 10復習, Unit 10-3			
		14週	Unit 10-4,Unit 10復習			
		15週	文法テスト, 試験対策			

		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
評価割合						
		定期試験	課題	授業中のコミュニケーション活動への参加状況	合計	
総合評価割合		50	40	10	100	
基礎的能力		50	40	10	100	
専門的能力		0	0	0	0	
分野横断的能力		0	0	0	0	